

福井窯業 株式会社

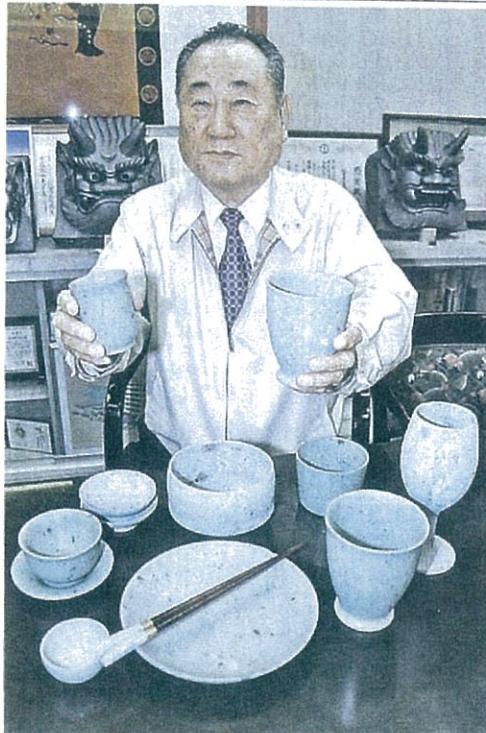
笏谷石 風合い味わつて

福井窯業(福井) 食器40種開発、販売

福井市の足羽山周辺で
産出され、古くから建築
資材などに利用されてき
た笏谷石の文化を後世
に残そうと、屋根工事業
の福井窯業(本社同市田
原2丁目、近藤登幹夫社
長)は、笏谷石を加工し
た食器を開発、販売を始
めた。茶わんやそば器、
ピアマグなど40種類に

「再生」、福井のPRに
もつなげたい考えだ。
笏谷石は現在採掘され
ていないため、解体され
る住民家を訪ね、基礎部
分や堀垣に使われていた
笏谷石を購入、岐阜の石
加工職人に製造を委託し
た。

「石は重い」というイ
メージがあるため、加工
も受けている。



笏谷石を加工製作した茶わんや箸など=福井市田原2丁目の福井窯業

また、柴田勝家が足羽
川に築いた九十九橋が笏
谷石と木による「半木半
木」を使った「九十九箸」も製
作した。価格は、おちょこ36
00円、箸3千円、湯飲

みと茶托のセット1万円
など。受注販売のほか、
東京の県産品アンテナシ
ョップ「ふくい南青山2
91」に並べている。近
藤社長は「歴史や文化に
関心のある方に対してだけ
でなく、福井の土産物
としても売り出していく
たい」と話している。